

兵庫県立こども病院洗濯業務委託仕様書

1. 契約期間

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

2. 委託業務の内容

別紙「洗濯業務委託品明細書」のとおり。

3. 洗濯物引取納品場所

当院が指定する場所

回収・納品場所	詳細
地階リネン庫	
1階放射線科	
2階男女更衣室	(看護)商品ごとに各サイズに振り分けて納品 (ME 男)回収
2階薬剤部	
2階検査部	
2階リハビリ	
2階子と親の相談室	
2階視能訓練室	
3階医局更衣室	(医師)回収、納品 (女ME、医師事務)回収
3階産科	
3階医師事務	ユニフォームの納品
4階男女OP更衣室	商品ごとに各サイズ振り分けて棚に納品
4階ME室	男女ユニフォームの納品
各階指定場所	ユニフォーム以外の回収、納品
その他	適宜指定

4. 洗濯物引取・納品日

1) 引取

毎日(土、日、祝日除く)

ただし、3日以上引取のない日が続く場合は、そのうち1日を引取日とすること。

例外部署：栄養管理課(月、木)、家族支援地域連携(月)

2) 納品

引取日の2日後を納品日とする。(例：月曜日引取⇒水曜日納品)

5. 委託の条件

受託者は、(財)医療関連サービス振興会の医療関連サービスマークの認定を受けていること。

6. 受託者施設の構造・設備

- 1) 次に掲げる箇所は隔壁等より区分されていること。
 - (1) 洗濯施設と外部の間
 - (2) 洗濯施設と居室、台所、便所等他の施設の間
 - (3) 洗濯施設と他の洗濯物に係る各施設の間
 - (4) 洗濯施設内の清潔作業区域とその他の間
- 2) 原則として病院洗濯物のみを取り扱う専門施設であること。
- 3) 病院洗濯物に係る各施設は、採光、照明及び換気が十分に行われる構造であること。
- 4) 受取場、洗濯場、仕上場及び引渡場は、洗濯物の処理及び衛生保持に支障を来さない程度の広さ及び構造を有すること。
- 5) 洗濯場の床及び腰張りは、コンクリート、タイル等の不浸透性材質を使用し、清掃が容易に行える構造であること。
- 6) 仕上げの終わった寝具類の格納設備が、汚染の恐れのない場所に設けられていること。
- 7) 洗濯施設内は、細菌の汚染程度により次に区分し、従事者が識別できるようになっていること。
- 8) 清潔作業区域への移動入路部には、手洗い及び消毒のための設備を設けること。

7. 備えるべき機器及び装置

- 1) 消毒、洗濯、脱水、乾燥、プレス及び給湯に係る機械又は器具類など寝具類を適正に処理するための設備
- 2) 寝具類の処理のために使用する消毒剤、洗剤、有機溶剤、しみ抜き薬剤等を専用に保管する保管庫又は戸棚等
- 3) 敷布団、掛布団、枕その他の修理に必要な設備
- 4) 寝具類の輸送を行う専用の運搬車
不潔物と清潔物の運搬は、別車であることが望ましい。運搬を同一車で行う場合は、車内に不潔物と清潔物の格納のための区分体を設けるか、若しくは不潔物・清潔物別にそれぞれ専用容器に保管して行う方法によること。なお、運搬車及び専用容器等は、寝具類の輸送に使用した後は、適時消毒を行うこと。
- 5) 清掃用具専用の保管場所

8. 施設、設備及び器具等の保守管理

- 1) 施設、設備及び器具等に係る具体的な衛生管理要領を定めていること。なお、各事項の記載内容は、「病院診療所等の業務委託について」（平成5年2月15日指第14号厚生省健康政策局導課長通知）の別添1「病院寝具類の受託施設に関する衛生基準」に示されている要件を満たすものであること。
- 2) 洗濯施設からの排水は、公共下水道に放流する場合を除き、その水質を生活環境の保全上支障が生じないものとするために必要な排水処理施設を設けること。

9. 標準作業書及び業務案内書に関する事項

- 1) 受託者は、受託業務の適正化及び標準化を図るため、標準作業書を整備し、委託者から求めがあったときには、速やかに提示すること。標準作業書には、取扱い寝具類ごとに、運搬、受取り、消毒、洗濯、引渡し、保管の各工程の作業手順について記載されていること。
- 2) 受託者は、受託する業務の内容、方法等を明確にするため、業務案内書を整備し、委託者から求めがあったときには、速やかに提示すること。業務案内書には、施設及び設備の概要、業務の管理体制、取扱い寝具類の品目、寝具類の洗濯方法が記載されていること。

10. 作業日誌等各種帳票類に関する事項

受託者は、各作業手順の内容を確認するため、以下の帳票類を作成して保管すること。なお、委託者からの求めに応じて開示すること。

(1) 受取・引渡記録

作業年月日、受け元の名称、各寝具類の数量、作業担当者名が記入されたもの

(2) 洗濯業務作業日誌

作業年月日、使用機器、稼働時間、受託先別の各寝具類の数量、作業担当者名が記載されたもの

11. 継続的な業務の遂行

受託者は、受託洗濯施設の受託業務の全部または一部の遂行が困難となった場合の危険の担保のため、次の体制を整備する。

- 1) 一般財団法人医療関連サービス振興会のサービスマーク認定事業者との間で代行保証契約を締結するか、又は事業者団体等が行う代行保証制度に加入するか、又は社内の他の病院寝具類専門施設から継続してサービス提供を実施する体制を構築すること。
- 2) 代行の実施が必要となった場合の対応のため、代行者の名称及び連絡方法、代行の内容及び期間、その他代行の実施に必要な事項を記載したマニュアルを作成し、従事者及び委託者に周知しておくこと。
- 3) 代行保証に基づく代行は、業務を再開できるに至ったときは、速やかに解除できるものでなければならない。

12. 感染の危険のある寝具類の処理

感染の危険のある寝具類を受託する場合は、当該寝具類を密閉した容器に収めたうえ感染の危険のある旨を表示して委託者施設内から一般洗濯物と分けて持ち出すなど、他に感染する恐れのないよう取り扱うこと。

13. 受託者の責務

1) 守秘義務

受託者は、業務上知り得た本人及び患者の秘密を第三者に漏らしてはならない。このことは、契約の解除及び期間満了後においても同様とする。

2) 法令の遵守

受託者は、業務を遂行するに当たり関係法令を遵守し、患者のサービスに努めなければならない。

3) 信用失墜行為の禁止

受託者は、委託者の信用を失墜する行為をしてはならない。

4) 教育訓練

受託者は、業務従事者の資質を向上させ、業務を的確かつ安全に行うため、適切な研修・訓練を計画的、継続的に行わなければならない。

5) 健康管理

(1) 健康診断

受託者は、常に業務従事者の健康管理に注意し伝染性の疾病等に罹患したものを業務に従事させてはならない。また、受託者の負担において業務従事者の健康診断を年1回、行わなければならない。

(2) ワクチン接種

①小児流行性ウイルス感染症

感染防御および院内感染対策の観点から、採用時に院内において、麻疹・水痘・風疹・流行性耳下腺炎の抗体価を測定し、その結果基準値を満たさない場合はワクチン接種の実施を推奨する。

②B型肝炎

血液や体液に曝露する可能性があるため、B型肝炎ワクチンの接種を推奨する。

③インフルエンザ

患者の周囲で作業するため、流行時期前にインフルエンザワクチンの接種を実施する。

(3) 針刺し等事象発生時

当院の感染対策マニュアルの規定に基づく。ただし、採血、各種薬剤投与に関する費用は受託者が負担する。

1 4. 業務遂行状況の把握

1) 委託者による業務の状況視察を定期的に行う。

2) 委託者は本業務に関し必要のある場合、調査及び報告させ、改善を求めることができる。この場合、受託者は直ちにこれに応じ報告しなければならない。

1 5. 会議の実施

重大な事象等が発生した場合は、委託者及び受託者の関係者が集まり協議・検証する。

1 6. 協議

本仕様書に記載されていない事項に関して疑義が生じた場合は、委託者と受託者とが協議して決定することとする。

1 7. その他

洗濯業務委託品明細書（通常分）項番 5 白ズボン、項番 1 2 KC型 白衣及び項番 1 4 看護衣については、令和 5 年 7 月末で業務委託を終了の予定だが、具体的な終期は契約締結後、別途お知らせします。